

XRE Transcoder

Multiformat/codec Video File Transcoder

リリースノート

Software Version 8.53b3015 (2017 年 12 月版)

更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

- ソースクリップに読み取り専用フラグがついていると、トランスコード終了後にソースクリップの削除に失敗する。
- ウォッチフォルダーに置いたソースクリップをトランスコードしないことがある(SFDC00600272)。
- プロジェクトファイル(トランスコード用の内部処理ファイル)を複製する(SFDC00596390)。
- トランスコード終了後にプロジェクトファイルの削除に失敗する(SFDC00595628)。
- ウォッチフォルダー内でファイルサイズが変化するソースクリップ(Web からウォッチフォルダーへのダウンロードなど)に対してトランスコードを実行しない(SFDC00579480)。
- ソースクリップに特定の文字が含まれていると XRE Controller サービスが強制終了する(SFDC00613534)。

制限事項

Windows Media Video ファイルをソースとして使用する場合

XRE Transcoder をインストールするコンピューターの OS が Windows Server OS の場合は、デスクトップ エクスペリエンスをインストールしてください。

- 1) [スタート] > [管理ツール] > [サーバーマネージャ] を選択します。
- 2) サーバーマネージャの詳細ウィンドウの [機能の概要] で [機能の追加] をクリックします。
- 3) 機能の追加ウィザードが起動します。[機能] 一覧で、[デスクトップ エクスペリエンス] を選択し、[インストール] をクリックします。

QuickTime for Windows のアンインストールによる対応フォーマットの制限

QuickTime for Windows をアンインストールした場合は、下記フォーマットのファイルが取り扱えなくなります。

静止画: Flash Pix, JPEG2000, Mac Pict, QuickTime Image

動画 (MOV): 3GP, 3G2, M4V および他のコーデックの MOV ファイル

音声: MOV (Linear PCM, AAC を除く), QuickTime Audio

これらのファイルを取り扱う必要がある場合は、[EDIUSWORLD.COM FAQ ページ](http://EDIUSWORLD.COM)をご覧くださいの上、QuickTime Essentials をインストールしてください。

- 1) XRE Transcoder のプラグインの設定を開きます。
- 2) QuickTime 項を開き、「QuickTime インポーターを有効にする」にチェックを付けます。
- 3) [OK] ボタンをクリックします。
- 4) XRE AdminConsole を開き、Plug-in アイコンをダブルクリックします。
- 5) QuickTime 項を開き、「QuickTime インポーターを有効にする」にチェックを付けます。
- 6) [OK] ボタンをクリックします。